

## 研究協力をお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

胆嚢摘出後に診断された偶発胆嚢癌症例の検討

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2005年1月から2019年12月に当院で良性胆嚢疾患との術前診断で胆嚢摘出術が施行された方で術後病理結果において偶発的胆嚢癌と診断された方。

### 2. 研究目的・方法

胆嚢癌は術前診断が困難なことが多く、良性胆嚢疾患の術前診断のもと胆嚢摘出術が施行され、永久病理診断で偶発的に胆嚢癌の診断に至る症例(incidental gallbladder carcinoma:IGC)が0.2~2.1%存在するとされています。今回、当教室において経験したIGC症例について検討を行います。

本研究は学術研究であり、昭和大学病院に入院中の患者さんのデータを利用します。患者さんのデータは病院内の診療録管理室にて「3. 研究に用いる試料・情報の種類」に記載した情報を取得します。取得した情報は、本研究者間のみ情報を共有します。

#### 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2022年12月31日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬)、血液検査所見度(血算、生化学、凝固)、画像所見による評価(エコー、X線、CT、MRI)、手術時間、出血量、胆嚢損傷の有無、開腹手術への移行率、術後在院日数、術後合併症、病理結果、追加手術の有無および予後

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学病院（医学部外科学講座消化器一般外科部門） 研究責任者：長石 将大

住所：142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8 電話番号：03-3784-8541